学校法人　麻上学園　幼保連携型認定こども園

さくら幼稚園

令和６年度　入園案内

理事長　麻上　昌幸

園長　大瀧　健太

〒047-0156
小樽市桜１丁目５番１号
TEL　0134-54-6106
Fax　0134-54-9010

幼児教育者が一番に大切にしなければならない事は
子ども達の『楽しい』を引き出す事。

どんな有名なプロスポーツ選手も、どんな優秀な科学者も、
口をそろえて言う言葉

「〇〇が好きなんです」　　「〇〇が楽しいんです」。

人は楽しいとその事柄が好きになる。
そしてもっとやりたくなる。
発展させたくなる。向上させたくなる。
そんな生きものなのです。

そして、そこに自分を認めてくれる大好きな友達がいれば自信となり、共有する事ができればお互いにより視野を広げ、世界観が枝分かれしていくものです。

それが幼稚園の存在意義ではないでしょうか？

幼稚園を楽しい場所にする！

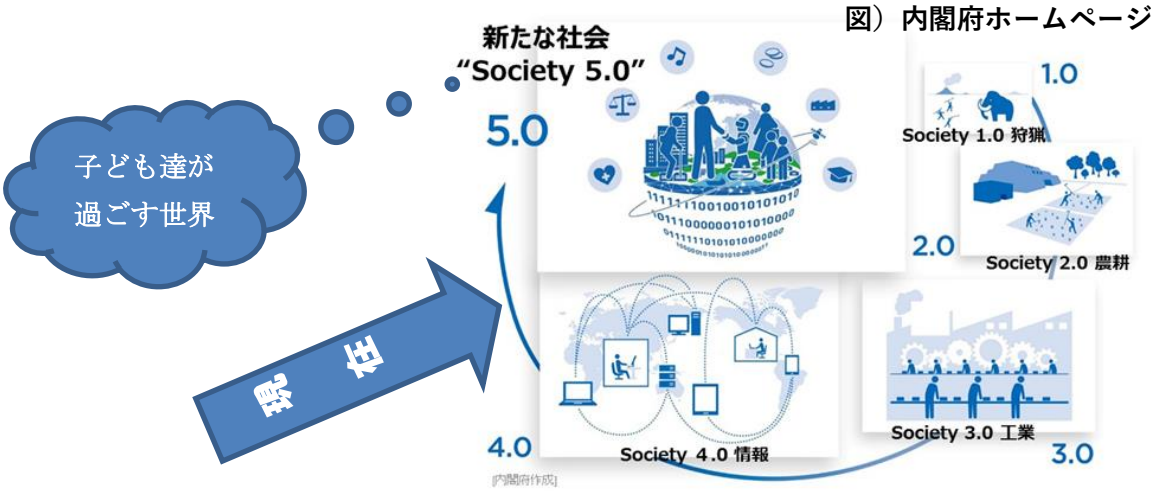
それが園長として先生方にお願いした事です。
成長は環境が引き出し、友達が伸ばしてくれるもの。

楽しい場を作り、楽しむ力を育めばその子の人生は一生輝き続けると信じています。

ホームページ園長挨拶より

『ソサエティ５．０』を過ごす子ども達に向けた新しい教育

図）内閣府ホームページより



上の図は社会の変化です。狩りをしていた時代（Society 1.0)、田畑を耕し生活をしていた時代（Society 2.0)、工業が盛んになった時代（Society 3.0)、誰もがインターネット（情報）に繋がった時代（Society 4.0）と歩みを続けています。そして、今後子ども達が過ごす未来（Society5.0）では仮想空間と現実空間を融合させたシステムにより、様々な課題が解決され更に物事が便利になるといわれています。

Society１～2 まで〇〇万年、Society2 から 3 まで〇〇千年、Society3 から 4 まで〇〇百年と、次々と加速している人類の社会的変化。Society4 から 5 までは数十年で到達するのです。この事によって、まだ見ぬ確実に訪れる社会に対し、私たちは未来に合った人間の育成をしていければいけません。

図）内閣府ホームページより

今の子どもたちの 65%は、今は存在していない職業に就き、雇用者の約 47%の仕事が自動化される”といった予測もあります。**将来の変化を予測することが困難な時代**を生きる子どもたちに対しては、社会の変化に受け身で対処するのではなく、**自ら課題を発見し、他者と協働してその解決を図り、新しい知・価値を創造する力**を育成することが大切です。

そのために私たちは「何を教えるか」だけでなく、子たちに「どのように学ぶか」という場をつくり、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を充実させていくことが求められています。

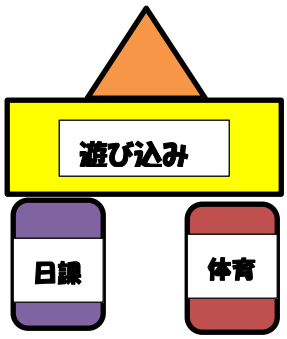
楽しみの中でどのような子を育てたいか？

- **大好きな事はより楽しく**
- **沢山の事柄に愛や楽しみを見い出す**
- **どんな屈強な壁に当たってもそこから這い上がれる子に**
- **いつも笑顔で沢山の人にそれを振りまいていける子に**
- **楽しいを伝染させ沢山の楽しい！幸せ！を増幅させてほしい**

どのような手段で？

さくら幼稚園の　遊びを支える２本の柱

幼稚園の主な活動は子ども達の『遊び』です。
その遊びを引き出す為、充実させるために
『体育活動』と『日課活動』があります。
　脳を活性化させ、健康な体を作り、自己を
表現する手段を身につけ、より充実した遊び
『遊び込む力』を育みます。



①　『遊びの時間』（総合）

幼稚園教育要領の改訂に伴い『遊び』がより重視されるようになりました。当園では単に自由遊びの時間を設けるのではなく『遊び込み』を合言葉に子ども達主体の活動となるようきっかけ作りや助言、環境構成などのお手伝いをしています。

子どもたちは遊びから生まれる問題点や、発見、アイディアなどを共有しながら日々継続的活動を行い自尊心を育みます。

この毎日の活動が『自分たちの幼稚園』を作り、自分の居場所や存在意義を構築、自己肯定感や※非認知能力を育みます。

※非認知能力…IQ などの数値では測れない力、粘り強さや協調性、自制心など

②『体育活動』（体）

身体が学びの質を高めます。きびきび動ける幼児は脳も活発に働き、いきいきとしています。しなやかな、集中力ある俊敏に動ける身体を育てる毎日の活動です。当園は幼児体育指導の資格保持者が数名おり、中心となって安全に確実に指導しています。

③『朝の日課活動』（脳）

フラッシュカードや百玉そろばんなどを使い、瞬間的に脳へ刺激を与えます。大脳の発達原理に基づく科学的根拠のある活動です。詩の朗読などにより様々な日本語を知り感性を養います。短時間集中、リズミカルにテンポよく、楽しみながら、未来の可能性を育てています。

大切なのは勉強をする事、頭をよくする事ではありません。正しい姿勢で座る事、人の話を聞く事、正しく鉛筆を持つ事、待つ事、椅子を机に入れる事、『あたりまえをあたりまえにする事』を幼児の生活に組み込みます。

毎日の活動なので何かしらの力は自然と身についていきます。

小学校へ入学して必要な事は日々の幼稚園生活から自然に身につきます。

～その他の魅力～

☆給食について（食育）

当園は１号認定２、３号認定共に週５の園内調理完全給食です。栄養士が常勤し、メニューの立案や、食育指導を行っております。

自分の健康を守り、豊かな食生活を創造する力を育てる

さくら幼稚園の食育とは・・・

毎日の給食の中で・食に興味を持つ
・食べることが好きになる
・栄養バランスのとれた食事で健康な身体を作る

① 色々な食材やメニューを知ることで調理法の違い、味の違いを体験すること
② 伝統食、行事食、旬の食材を通じて、地域、日本、世界の文化を知ること
③ 食事のマナーを知り、みんなで楽しく食べる経験をすること
④ 自園農園での野菜、お米作り、みそ作りなどを体験し、収穫後の試食や調理体験を通じて、育てること、作ることや食べることの楽しさを知ること
⑤ 以上を踏まえ、他人と一緒に食べる、作るから、他人に分け与える、共有する喜びを感じて、作ってくれる人、食べてくれる人への感謝の気持ちを育てていくこと

他にも日本固有の行事の食べものを食べる機会を大切にし、田植え、種植え、雑草抜き、観察、そして収穫の喜び、いただく喜びを味わいます。

☆危機管理対策

危機管理マニュアルの確認と見直しを園内研修を通して行い、非常時への備えに力を入れています。

自然災害等による備え

太陽光発電、蓄電、発電機、非常食、水

不審者対策

電子キー施錠、監視カメラ（１６台）、刺股

送迎バス

アルコールチェッカー、子ども取り残し防止システム、車載カメラ（前後方、車内）、GPS による走行追跡

その他

AED、ポイズンリムーバー、口内吸引ノズル

☆ICT システム

先生がより子ども達の教育準備に充実した時間を使う為や、保護者の方の負担軽減を目的としたアプリシステムを導入しております。欠席や、預かり利用など簡単なアプリ操作でお申し込みが可能です。

BUS CATCH
幼稚園・保育園・こども園向け
園支援システム
＋ バスキャッチ

☆各種行事

子ども達にとって大切なことは幼稚園に友達がいて、そして楽しい場である事。大好きな友達と様々な経験のなかで様々な事を見て、様々な事を感じる、、、。ご家庭ではできない体験を幼稚園という場で存分に体験してもらえるよう意識し、定番行事はもちろんですが保育活動で行うプチ行事も豊富です。

観光船体験、雪明り、ぶどう狩り、お餅つき、みそ作り体験、水族館見学、動物園見学、田植え、消防署見学、うどん作り、観劇観賞など

☆SDGs幼稚園の取り組み

『SDGs』とは「SustainableDevelopmentGaols（持続可能な開発目標）」の略称です。

簡単に言うと「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった問題を、世界のみんなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

当園は『幼児教育機関』です。未来を創造する子どもたちを教育する施設ですから、その未来への環境を守る努力をすることも責任の一つと考えています。

“私たちにできることを一つひとつ持続していこう。”子どもたちにも世界情勢や地球環境など視野を広く向け、様々な事への興味関心を養っていこうと考えています。

園舎には太陽光パネルを設置、災害が起きた時などの活躍を期待しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

認定こども園さくら幼稚園は
持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

☆課外活動　「さくら幼稚園放課後クラブ」

当園では子ども達の更なる健やかな成長の為、様々な習い事を用意しております。幼稚園での苦手の克服や、得意な事、好きな活動をより一層深めて頂きたいと考えています。また、2 号認定者の増加により当施設で過ごす時間が長くなる

事を有効活用するなどの選択肢の増加も必要かと思います。

また、令和５年度よりヒューマンアカデミーとフランチャイズ契約を結びロボット（プログラミング）教室とサイエンスゲーツ（科学教室）を開校いたしました。今後子どもの成長の手助けとなるツールを確保しています。

※令和５年度習い事例　　ダンスクラブ・プラス（学習補助）・キッズ運動クラブ
ロボット教室・サイエンスゲーツ

その他にも園を会場に幼稚園児や小学生を対象とした「小樽キッズサッカークラブ」・「赤丸体操教室」「ECC ジュニア」がございます。　詳しくはそれぞれのパンフレット等をご参照の上お申し込み下さい。

令和６年度募集詳細

１. 入園受付について（１号）

令和５年 11 月１日(水) 午前７：４５より、幼稚園大ホールにて受付を行います。９：００以降の受付は新園舎玄関窓口にて行っております。

入園申込書及び申請書兼現況届の２点をお持ちください(内容と押印箇所を確認してください）　。受付時に面談の日程・時間の案内をいたします。先着順に受け入れ（入園見込み）となりますが、面談等により受け入れをお断りする場合があります。

※２号については小樽市役所子育て支援課へお問い合わせ下さい。

４月入園希望の方は２月１５日（１次募集）までの申し込みが必要です。

2.　入園時・入園後の経費と納入方法については別紙をご参照ください。

3.　入園までの日程

・願書受付	１１月１日(水)	午前７：４５時より随時
・面　　談	１１月６日(月)	午前１０時～１８時
・教材渡し	３月２２日(金)	午前９時３０分
説明会	〃	〃
・入園式	４月　６日(土)	午前１０時

4.　保育時間（一号認定者）

・月～金曜日の午前 8 時 30 分から午後１４時までです。(行事により変更あり)

・入園日から 4 月 12 日(金)までは、ならし保育期間(１１：30 降園)となります。

１日の流れ（月・火・木・金）

7:30～9:00	登園
9:25	体育活動
9:45	日課活動
10:30	遊びの時間
12:15	給食
13:00	クラス活動
13:30	帰りの準備・整理整頓
14:00	降園

※毎週水曜日はクラス活動を行い、クラスの課題や、
結束力を高める活動を行います。
※行事等により変更になることもあります。

5.　一時預かり保育について

～１８：００（１号認定者）

① 通常預かり保育(降園後の預かり)

１回のご利用に付き４５０円(おやつ別途 50 円)

１８時以降は延長１５０円

② 土曜日・振替休日(行事の代休)・長期休み(夏休み)預かり

１時間…120 円(春・冬休みは１時間１４０円)

午前午後各おやつ別途 50 円

③早朝預かり

７：３０～８：３０まで…100 円

※幼児教育無償化により、新２号認定を受けると１号認定の方の一時預かり部分が１日 450 円まで月 11,300 円まで補助を受けられます。新２号認定専用の書類を提出して頂きます。

6. 送迎バス運行について

乗車希望者を基準にバスコースの設定を行います。遠方の方はご相談ください。

（１か月２４００円。園が指定している保育日数が月１５日以下の場合は半額、
兄弟は一律１０００円、片道指定半額）

7. 給食について

栄養士指導の元、自園調理を行います。
子ども達の健やかな成長の為に栄養士と
保育教諭が協力し楽しく食育指導してまいります。

○１号・２号ともに全給食（１号週５回/２号週６回提供）

1 号料金　　副食　3600 円　＋　主食　900 円

計 4500 円

2 号料金　　副食（おやつ代含む）4500 円　＋　主食　1000 円

計 5500 円

1 号 2 号共に非課税世帯は副食費のみ 4500 円まで免除されます。

※令和 6 年度より原材料高等の影響により 300 円程度の値上げを検討中です。

8．個人情報の管理について

〇連絡アプリ

連絡網をアプリにて一括送信を行います。連絡内容をスピーディーに確実に、正確にお伝えできるシステムです。入園申込書での承認をいただき『バスキャッチ』（園依託業者）のサーバーに登録し厳重管理により外部に流出することはありません。

また園内でもすべてのパソコンにファイヤーウォールを設置、UTM や不正接続遮断システムを完備し、出来る限りの処置を講じております。

〇ホームページ

幼稚園の保育・教育や園児たちの様子を、保護者の皆様やそのほかの皆様にも伝えていくためにフェイスブック・インスタグラム・ホームページにて広報掲載を行っております。掲載を希望されない方は、入園申込書へご記入下さい。

＜　http://www.sakura-ac.jp　＞

９その他

〇園運営内容、各費用について

幼稚園運営に関する内容や費用については、様々な事情により年度切り替え時に関わらず変更することがございます。

〇閉園日、保育を提供しない日程

お盆休み…8 月 14、15、16 日

正月休み…12 月 31 日･1 月 1, 2, 3 日　　（内日曜振替）

親子で参加する行事が行われた日（運動会など）

〇小学校への継続した取り組み

さくら幼稚園アフタースクール（AS）では小学生のお子様をお預かりし、学習支援や体育支援を行っています。園近隣の小学校へはバスがお迎えに参ります。また、就労している職員のお子様もここで無料預かりをしております。

～よりよい幼児教育の為に承知いただきたい事～

幼児教育について

当園は令和元年度より認定こども園として生まれ変わりました。移行理由は上質な幼児教育を出来る限り沢山の子ども達に提供し、当園を利用して頂きたいからです。

『さくら幼稚園』という名称通り、幼児教育が基盤となっております。その為教育的運営をしております。保護者の皆様にはご協力頂かなくては実現不可能な事も多々あるかと思います。その点をご承知いただきご入園下さい。

処遇改善と子どもと関わるべき大人の姿

全職員には積極的に有給の取得を促し、定期的に業務改善を行います。

幼稚園たるもの子どもファーストでなければいけないのは勿論ですが、子ども

と関わる大人のメンタルサーポートは欠かせません。

「教育者」は「労働者」になってはいけない。これが私の持論です。

　しかし、幼稚園教諭という職業が巷では賃金が少ない、残業は当たり前、持帰りの仕事が多い、有給なんてとれない。そんな不満を抱えながら過ごす先生が、素敵な先生として皆様の大切なお子様に確かなパフォーマンスを行えるでしょうか？

　働き方改革が推進されているこの時期にしっかりと見直しをはかり『重要な事』の優先順位を定め効率的な幼児教育を進めています。

　これは職員が手抜きをするという事では決してありません。現在の職員はみな誠心誠意努力し向上心をもって子ども達と関わってくれています。

　何が子ども達にとって最善であるかを追求している事をご理解下さい。

　子ども達も保護者の方も、先生方も『さくら幼稚園』にいる事が誇らしくここが大好きになるよう全力を尽くすのが園長の役割だと思っています。

職員で運河ロードレースに出場！

『いつも子ども達に「がんばれ」と声をかける先生たち。先生たちも子ども達に頑張る姿を見せよう！という事で参加する事になりました。』

★お問い合わせなどはお電話かＬＩＮＥ、各種 SNS にてお願い致します。

さくら幼稚園→５４－６１０６まで

LINE QRコード

Facebookはこちら

Instagramはこちら

SAKURA.ASAGAMI

KITCHEN COUNTER
KIDS YARD

SAKURA

KINDERGARTEN